

日本銀行金融ネットワークシステム オンライン接続試験の実施手順書 (2019 年 6、7 月開催分)

【対象案件】

入札型電子貸付（共通担保資金供給オペレーション）関係事務の機能向上

相対型電子貸付関係事務における補完貸付事務の一部見直し

振替社債等の担保差入事務の一部見直し

2019 年 4 月

日本銀行
BANK OF JAPAN

目次

1. はじめに
2. 試験の開催日および実施時間帯
3. 試験の実施手順書
4. 試験環境
5. 日銀ネット端末の取扱い
6. CPU接続の取扱い
7. 電文フォーマットの事前確認
8. 参加希望調査票による回答内容の最終確認および試験当日の連絡先
9. 試験当日の終了連絡および実施結果報告書提出のお願い
10. 照会先

(別紙1) オンライン接続試験(2019年6、7月開催分)の実施手順書

(別紙2) オンライン接続試験(2019年6、7月開催分)当日の連絡先

(別紙3) オンライン接続試験(2019年6、7月開催分)の実施結果報告書

(別添1) 開発環境接続用アイコンの設定手順

(別添2) Internet Explorer のインターネット一時ファイルの削除手順

(別添3) 照会データ Excel 変換ツール

1. はじめに

○ 日本銀行では、2019年8月26日（月）を候補日として、日本銀行金融ネットワークシステム（以下「日銀ネット」といいます。）において、次の機能見直しを行う予定です。

- ① 入札型電子貸付（共通担保資金供給オペレーション）関係事務の機能向上
- ② 相対型電子貸付関係事務における補完貸付事務の一部見直し
- ③ 振替社債等の担保差入事務の一部見直し

○ これに先立ち、2019年6月27日（木）および7月7日（日）に、「オンライン接続試験」を開催します。本資料は、オンライン接続試験の実施手順書です。

—— オンライン接続試験は、日銀ネットのコンピュータ接続（以下「CPU接続」といいます。）またはファイルアップロード・ダウンロード機能（以下「ULDL機能」といいます。）を利用して電文の送受信を行う日銀ネット利用先のうち、2018年10月に実施した調査^(注)において、同試験に参加する旨を日本銀行に回答した先（以下「試験参加先」といいます。）を対象に行います。

—— 試験参加先以外の日銀ネット利用先は、本資料をお読みいただく必要はありません。

（注）2018年10月30日付で日本銀行HP「業務上の事務連絡」に掲載した「日本銀行金融ネットワークシステムにおけるオンライン接続試験の実施要領および参加希望調査票について（2019年6、7月開催分）」を指します（<http://www5.boj.or.jp/bojnet/message/kaihatsu.htm>）。

○ 試験参加先は、本資料に沿って、オンライン接続試験の実施準備を進めてください。また、試験当日には、CPU接続またはULDL機能を利用して送受信する電文の種類に対応した実施手順書（別紙1の「試験実施手順1」から「試験実施手順3」までを指します。）にもとづき、試験を行ってください。

—— 試験参加先からは、2018年11月末を期限として、「日本銀行金融ネットワークシステムにおけるオンライン接続試験の参加希望調査票（2019年6、7月開催分）」（以下「参加希望調査票」といいます。）により、オンライン接続試験への参加日程や、CPU接続またはULDL機能を利用して送受信する電文の種類等を日本銀行にご回答いただいています。参加希望調査票による回答内容に変更がある場合には、2019年5月10日（金）までに、日本銀行にご連絡ください。詳しくは本資料8.のとおりです。

○ 試験参加先は、試験終了後に、日本銀行への電話連絡および実施結果報告書の提出が必要となります。詳しくは本資料9.のとおりです。

2. 試験の開催日および実施時間帯

- オンライン接続試験の開催日および実施時間帯は、次表のとおりです。試験参加先は、参加希望調査票の「2. オンライン接続試験の参加希望の有無」において、参加を希望した日の実施時間帯に試験を行ってください。
- 試験当日に、日本銀行から試験参加先に対して、試験の開始または終了の連絡は行いません。試験参加先は準備が整い次第、試験を開始してください（「試験を開始する」旨の日本銀行への連絡は不要です。）。
- 試験参加先は、各回の試験が終了し次第、日本銀行に対して「試験が終了した」旨を電話にてご連絡ください（具体的には、本文9. のとおりです。）。

開催日および実施時間帯	試験名	留意事項
2019年6月27日（木） 13：00 ～ 17：00	オンライン接続試験 ＜平日開催分＞	試験参加先は、自行（庫・社）の確認が全て完了した場合には、適宜試験を終了して構いません。
2019年7月7日（日） 9：00 ～ 14：00	オンライン接続試験 ＜休日開催分＞	
2019年7月21日（日）	オンライン接続試験 ＜休日開催分＞ 予備日	7月7日に試験を開催することができなくなった場合に備え、予備日を設けます。予備日に試験を開催することとなった場合には、別途日本銀行からご連絡します。

- CPU接続開始処理およびCPU接続終了処理ならびに疎通確認処理の時間帯については、本資料6.（2）のとおりです。

3. 試験の実施手順書

- 試験参加先は、CPU接続またはULD機能を利用して送受信する電文（参加希望調査票において、「CPU接続利用予定」または「ULD機能利用予定」と回答した電文）の種類に対応する実施手順書（別紙1）をもちいて、オンライン接続試験を実施してください。電文の種類と試験の実施手順書の対応関係は次表のとおりです。

—— 試験実施手順1の「入札型電子借入内容確認サイン」（項番1－1）および「入札型電子借入期日前返済申込・申込取消」（項番4－1、5－1）電文を送信する際に使用する「与信番号」については、2019年6月上旬頃を目途に、日本銀行から試験参加先（当該電文、あるいは当該電文の後続の試験項目で送受信する電文を「CPU接続利用予定」または「ULD機能利用予定」と回答した先に限ります。）に対して個別にお示しします。

—— 各回の試験で使用する実施手順書は同じです。

CPU接続またはULD機能を利用して送受信を行う電文の種類 ※＜ ＞内は業務処理区分コードまたは帳票コード	実施手順書の種類
入札型電子借入内容確認サイン ＜531201＞	<div>試験実施手順1</div> <div>（案件：入札型電子貸付（共通担保資金供給オペレーション）関係事務の機能向上）</div>
入札型電子借入利息支払OKサイン ＜531204＞	
入札型電子借入期日前返済申込・申込取消 ＜531205＞	
入札型電子借入期日前返済OKサイン ＜531206＞	
借入明細 ＜534202＞	
当座勘定引落通知（入札型電子貸付） ＜2111-03200＞	
与信増額・減額済通知 ＜5310-00100＞	
入札型電子借入利息決済期日到来分明細表 ＜5312-00800＞	
入札型電子借入期日前返済承認・承認等取消済通知 ＜5312-00900＞	
入札型電子借入利息支払済通知 ＜5312-01000＞	
借入利率変更通知（入札型電子借入）（借入日前） ＜5312-01100＞	
借入利率変更通知（入札型電子借入） ＜5312-01200＞	
補完貸付借入申込 ＜531103＞	<div>試験実施手順2</div> <div>（案件：相対型電子貸付関係事務における補完貸付事務の一部見直し）</div>

担保差入（振替社債等）（口座管理機関用）＜541106＞	<div>試験実施手順 3</div> <div>〔 案件：振替社債等の担保 差入事務の一部見直し 〕</div>
担保差入済通知 ＜5421-00400＞	
担保差入受付通知[取消] ＜5421-00800＞	
担保差入済通知 ＜5421-02100＞	

- 試験の手順上、試験参加先はCPU接続またはULD L機能を利用する電文以外の電文を受信することがあります。当該電文については、後続の試験項目の実施に必要な場合を除いて、試験での確認対象外としていただいて構いません。

4. 試験環境

- オンライン接続試験で使用する日銀ネットのシステム環境は次のとおりです。各回とも、試験開始時点の環境は同じです。

(1) システム運用日付

日銀ネットのシステム運用日付は、2019年4月11日（木）です。オンライン接続試験では、この日付を用いて電文の送受信を行います。

(2) 残高等

オンライン接続試験で使用する日銀当座預金残高および担保余裕額（以下「残高等」といいます。）の初期値については、各回の試験開始時に、日銀ネットの照会機能を用いて把握してください。日本銀行が事前に残高等の初期値をお伝えする予定はありません。

—— 日本銀行は、2019年3月29日（金）の本番業務終了時点の残高等のデータを取得したうえで、残高等の積み増しや、試験の実施に必要な取引明細・銘柄の登録を行うとともに、システム上の日付をシステム運用日付まで進めます。

具体的には、次表のとおりです。

- ① 2019年3月29日（金）の本番業務終了時点における各試験参加先の残高等に対し、次表の金額を増額します。

日銀当座預金残高	それぞれ 10 兆円
担保余裕額	それぞれ 10 兆円 —— 「担保種類区分コード：9910」を対象に増額。

- ② 「入札型電子貸付（共通担保資金供給オペレーション）関係事務の機能向上」にかかるオンライン接続試験（試験実施手順1）への参加先に対し、試験の実施に必要な入札型電子貸付の募入決定情報および借入明細を登録します。具体的な設定内容は、試験実施手順1の本文【参考】のとおりです。

- ③ 「振替社債等の担保差入事務の一部見直し」にかかるオンライン接続試験（試験実施手順3）の実施に必要な振替社債等の銘柄を登録します。具体的な設定内容は、試験実施手順3の（参考）のとおりです。

- ④ システム上の日付を２０１９年３月２９日（金）の業務終了時点から同年４月１１日（木）の業務開始時点まで進めます。この期間に、日銀ネットの本番業務において処理された取引・決済の結果は、原則としてオンライン接続試験の環境には反映されません^{（注）}。

（注）例外として、日銀ネットのシステム上、自動的に処理が行われる取引・決済（例：国債元利金の支払い、担保の期日返戻等）の結果に限り、試験の環境に反映されます。

日銀ネットにおいては、２０１９年６月２７日（木）の試験終了後の残高等は７月７日（日）に引き継がれません。

5. 日銀ネット端末の取扱い


- 試験参加先は、U L D L機能^(注)を利用してオンライン接続試験に参加する場合には、日銀ネット端末が必要となります。また、C P U接続を利用する場合においても、トラブル等に備えて、日銀ネット端末をご準備ください。

(注) U L D L機能を利用する際の端末操作手順は、「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則（共通事務）」の第3編をご参照ください。

—— C P U接続を利用してオンライン接続試験に参加する場合でも、C P U接続を利用しない電文があるときには、試験の手順上、当該電文の送受信を行うために日銀ネット端末の操作が必要となることがあります。

(1) 事前準備

① 開発接続用アイコンの準備

- ・ オンライン接続試験は、「開発環境接続用アイコン」（赤色のアイコン）のある日銀ネット端末から本番の IP-VPN 網を介してセンター側の開発環境に接続する環境で行います。本試験で使用する日銀ネット端末のデスクトップ上に「開発環境接続用アイコン」がない場合は、「開発環境接続用アイコンの設定手順」（別添1）をご参照のうえ、事前に同アイコンの設定をしてください。

② テスト用端末認証装置およびテスト用権限者カードの準備

- ・ オンライン接続試験は、日銀ネット主管店から貸与された「テスト用端末認証装置」および「テスト用権限者カード」（以下「テスト用端末認証装置等」といいます。）を使用します。事前にテスト用端末認証装置等のご準備をお願いします。

③ Windows のサインイン I D等の準備

- ・ 試験当日の日銀ネット端末等のトラブルに備え、Windows のサインイン I D「administrator」のパスワードならびに 2019 年 5 月上旬配付予定の「日銀ネット端末システム用セットアップ C D Ver9.0」および「日銀ネット端末システムウイルス対策ソフト Ver9.0」の保管場所を事前にご確認ください。

④ 通常、電源を投入していない端末を使用する場合

- ・ 通常、電源を投入していない日銀ネット端末を試験で使用する場合、必ずウイルス対策ソフトの定義ファイルを「今すぐ更新」により更新し、日銀ネット端末装置内の全てのハードディスクに対してコンピュータウイルスの有無を調査し、コンピュータウイルスが無い状態で利用してください。なお、バックアップ拠点などで、長期間、日銀ネット端末の電源を投入していない場合には、ウイルス対

策ソフトのウイルス定義ファイルの更新作業に長時間を要しますので、試験前日までの間に必ずウイルス定義ファイルの更新作業およびウイルスチェックを実施しておいてください。

⑤ 試験用データの打溜め

- ・ 試験前日までに、試験用データの打溜めを行うことはできません。

(2) 試験当日の運用

① 日銀ネット端末の立上げ

- ・ 試験当日に日銀ネット端末を立ち上げる際の Windows のサインイン ID は通常どおり「bojnet」です。試験では全ての日銀ネット端末を使用する必要はありません。試験において必要となる日銀ネット端末・プリンタ等をご準備ください。

② テスト用端末認証装置等の暗証番号等

- ・ 通常業務で使用している端末認証装置（端末認証装置(障害時用)含む。）および権限者カードは、本試験では使用できません。本試験で使用するテスト用端末認証装置等の暗証番号等は次表のとおりです^(注)。

—— なお、テスト用端末認証装置の暗証番号およびテスト用権限者カードのパスワードの変更ならびに証明書の更新は絶対に実施しないでください。

機器名	暗証番号等
テスト用端末認証装置	・ 暗証番号は「testbojnet」です。
テスト用権限者カード	・ テスト用権限者カードの ID は、テスト用権限者カードの発行済通知に記載された ID 番号の先頭の「A」を除いた 3 文字となります。 ・ パスワードは「testbojnet」です。

(注) ・ 通常業務で使用している端末認証装置および権限者カードを誤って使用した場合にはエラーメッセージが表示されますが、特別な対応（日本銀行への連絡等）は不要です。エラーメッセージ画面を閉じ、テスト用端末認証装置等に入れ替えたうえで接続を行ってください。また、誤って使用した本番用の端末認証装置等は、翌営業日以降もそのまま通常業務で使用できます。

- ・ テスト用端末認証装置の暗証番号またはテスト用権限者カードのパスワードを連続で複数回誤入力した場合には、これらの番号等がロックされます。この場合は、速やかに試験当日における日本銀行の照会先へ連絡してください。

③ 入出力グループの設定内容（初期設定）

- ・ オンライン接続試験ではグループ番号「001」の入出力グループのみを使用してください（全てのテスト用権限者カードにおいて使用可能です。）。
- ・ グループ番号「001」の入出力グループを使用することにより、試験参加先が日本銀行から利用を認められたすべての業務分野における端末操作を行うことができます。また、グループ番号「001」を用いた端末操作により、試験参加先において受信可能な全ての出力帳票を受信・閲覧することができます。
- ・ オンライン接続試験における入出力グループの設定は、次表のとおりとなります。

グループ番号	権限範囲	出力帳票	端末操作者	端末認証装置	指定中グループ
001	AAAA	設定なし	全てのテスト用 送信権限者	設定なし	○
301（注）	03AA				

（注）日銀ネット端末の仕様上、グループ番号「301」の入出力グループが設定されていますが、今回のオンライン接続試験では使用しません。

④ 試験当日に出力される帳票の取扱い

- ・ 試験当日に出力される帳票については、通常業務のものと混同しないようにしてください。また、試験当日は、自行（庫・社）の試験内容以外の帳票が出力される場合があります。当該帳票は適宜破棄していただいて結構です。

⑤ 日銀ネット端末の立上げ、立下げ時の留意点

- ・ 試験当日の日銀ネット端末の立上げ時、および立下げ時は、インターネット一時ファイルの削除^{（注）}を実施してください。

（注）「Internet Explorer のインターネット一時ファイルの削除手順」（別添2）をご参照のうえ、実施してください。本作業を失念した場合、翌営業日の端末接続時に「M246W1GE システムエラーが発生しました。」のエラーメッセージが出力され、日銀ネットが利用できなくなる場合があります。翌営業日にこのエラーメッセージが出力された場合には、本作業を実施したうえで、再度端末接続処理を行ってください（日本銀行への連絡は不要です。）。

⑥ 日銀ネット端末の画面または帳票上に表示する日付の取扱い

- ・ 日銀ネット端末は、画面または帳票上の日付項目を「和暦」で表示するシステム仕様となっています。今回のオンライン接続試験で使用する日銀ネットのシステム環境は2019年3月時点のものであるため、日銀ネット端末の画面または帳票上に表示する日付項目は旧元号（平成）となります。仮に、日銀ネット端末の画面または帳票において、2019年5月1日以降の日付を表示する場合、元

号は「平成」となります。

—— なお、CPU接続またはULD機能を利用して送受信する電文については、日付項目を「西暦」で設定するシステム仕様となっています。

6. CPU接続の取扱い

(1) 試験環境

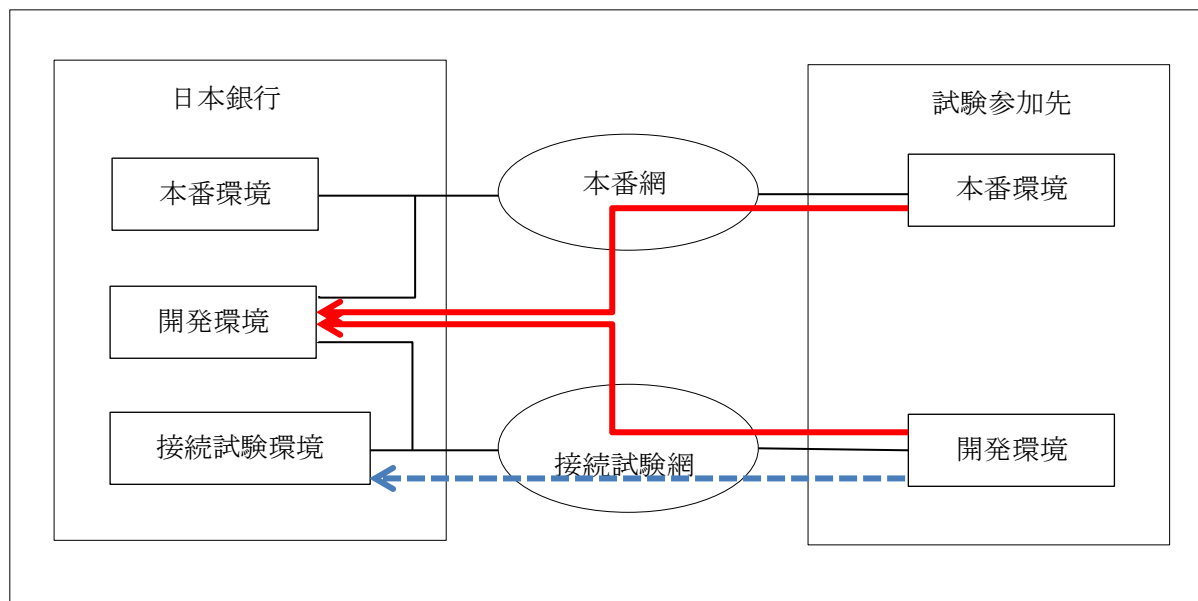
① 試験で使用するシステム環境

- 試験参加先が、各回の試験で使用する自行（庫・社）システムの環境（開発環境または本番環境の別をいいます。以下「参加形態」といいます。）および通信回線（L3サービス）の種類は次表のとおりです。

試験の開催日	参加形態	通信回線の種類
2019年6月27日（木）	開発環境	接続試験網 （次の図の青点線を参照）
2019年7月7日（日）	開発環境または本番環境のいずれか一方	開発環境から参加する場合には接続試験網、本番環境から参加する場合には本番網 （次の図の赤実線を参照）

- 試験参加先は、参加希望調査票の「5. CPU接続の利用に関する事項」でご回答いただいた参加形態で、試験に参加してください。日本銀行においては、ご回答いただいた参加形態に応じ、通信経路設定を行います。
- なお、日本銀行は、日銀ネットの開発環境または接続試験環境を使用して試験を開催します（次の図を参照）。

図. 日銀ネットとの接続イメージ



② 試験参加先におけるシステムの設定内容

- 試験参加先は、「日本銀行金融ネットワークシステム コンピュータ接続に関するシステム構築用調査表」（以下「システム構築用調査表」といいます。）により、2019年3月29日（金）時点で有効なシステムの設定内容（金融機関等店舗コード等、CPU接続制御コード、ロジカルパスの構成、送信元IPアドレス）として日本銀行に届出済の内容を、自行（庫・社）システムに設定してください。
- 設定にあたっては、次表に掲げる点に留意してください。

項目	留意点
金融機関等店舗コード等、CPU接続制御コード、ロジカルパスの構成	オンライン接続試験への参加形態による違いはありません。開発環境から参加する場合でも、本番環境と同じ内容を設定します。
送信元IPアドレス	<p>オンライン接続試験への参加形態に応じて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本番環境から参加する場合 「システム構築用調査表」6.（1）に記載した本番環境の送信元IPアドレス 開発環境から参加する場合 「システム構築用調査表」6.（2）に記載した開発環境の送信元IPアドレス

- ・ 試験参加先は、オンライン接続試験への参加形態にかかわらず、「CCSキー」および「日本銀行のIORファイル」として、次表に掲げるものを使用してください。

項目	ファイル等
CCSキー	本番環境で用いるCCSキーと同じものを使用します。
日本銀行のIORファイル	「メインセンター接続」用の2種類のファイル（「送信電文処理および制御処理」を利用するためのIORファイルおよび「照会データファイル取得処理」を利用するためのIORファイル）を使用します。

（２）試験当日の運用

① CPU接続開始処理およびCPU接続終了処理

- ・ 試験参加先は、CPU接続開始処理およびCPU接続終了処理を次表の時間帯に実施してください。
- CPU接続開始処理の終了後、日本銀行からのEX電文の送信が開始されます。疎通確認処理は、CPU接続開始処理を実施後に適宜行うことが可能です。
- CPU接続終了処理は、自行（庫・社）の試験が終了したタイミングで適宜行ってください。

試験の開催日	CPU接続開始処理の実施時間帯	CPU接続終了処理の実施時間帯
2019年6月27日（木）	12:30～13:00	試験終了後～17:10
2019年7月7日（日）	8:30～9:00	試験終了後～14:10

- ・ CPU接続を利用する場合における試験当日の全体的な流れは次表のとおりです。

＜CPU接続を利用する場合における試験当日の流れ＞

項番	実施項目	時刻	試験実施手順	確認事項	チェック
1	コンピュータ 接続の開始	【6/27】 12:30～13:00 【7/7】 8:30～9:00	＜ＣＰＵ接続開始処理＞ ● ＣＰＵ接続開始処理 を左記時刻までに実施 してください。	・ＣＰＵ接続開始処理 が正常に行えるこ と	<input type="checkbox"/>
<p style="text-align: center;">オンライン接続試験の実施 ——「試験実施手順」（別紙１）のとおりです。</p>					
2	コンピュータ 接続の終了	【6/27】 試験終了後～ 17:10 【7/7】 試験終了後～ 14:10	＜ＣＰＵ接続終了処理＞ ● 全ての試験項目を終 了した利用先は、利用 先からＣＰＵ接続終了 要求電文を送信するこ とにより、コンピュー タ接続を終了させてく ださい。	・ＣＰＵ接続終了処理 が正常に行えるこ と。 ・ＣＰＵ接続制御コー ド毎に当日送受信 した結果（ＲＥＳ電 文／ＥＸ電文／照 会下り電文件数）が 自行のシステムの 計上値と一致して いること。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

② 試験終了後における本番環境のシステムの戻し確認

- ・ 試験参加先が、2019年7月7日（日）の試験において本番環境から参加する場合は、試験終了後に本番環境の疎通確認処理を実施することにより、システムの戻し確認を行うことができます。参加希望調査票の「6. 疎通確認にかかる希望」において疎通確認を希望された試験参加先は、試験終了後から16：00までの間に実施してください。

—— 開発環境から参加する場合には、試験終了後にシステムの戻し確認を行うことはできません。

—— 疎通確認処理が正常に終了した後、日本銀行は各試験参加先（共同センターを利用している試験参加先の場合は「共同センター」）へ確認終了の旨を連絡します。

<疎通確認処理の流れ>

時刻	日本銀行側	利用先側	確認事項	チェック
	府中メインセンター	利用先メインサイト/バックアップサイト		
【7/7】 試験終了後 ↓ 16:00	疎通確認要求電文 ←-----→	疎通確認要求電文	・ 疎通確認要求電文および疎通確認応答電文の受付が正常に行えること。	<input type="checkbox"/>
	疎通確認応答電文			
	疎通確認通知電文 -----→ ←-----	疎通確認通知電文	・ 疎通確認通知電文の受付および疎通確認通知応答電文が正常に行えること。	<input type="checkbox"/>
	電話連絡 -----→	疎通確認通知応答電文	・ 府中メインセンターから疎通確認処理が正常に終了した旨の連絡を受けたこと。	<input type="checkbox"/>

7. 電文フォーマットの事前確認

- 試験参加先においては、オンライン接続試験に参加するまでに、自行（庫・社）システムの開発を適宜進めていただくほか、以下の方法により、日銀ネットに送信する電文が正しく作成されていることを確認してください。日銀ネットに送信する電文が正しく作成されていない場合には、オンライン接続試験を円滑に実施することができないおそれがあります。

（１）XMLスキーマによる送信電文のフォーマット確認（対象：CPU接続、ULDL機能）

CPU接続またはULDL機能を利用して送信する各電文が正しいフォーマットで作成されていることを、試験参加先自身で確認します。具体的には、自行（庫・社）システムで作成した送信電文を日本銀行より提示するXMLスキーマと突合することを実施します。

—— XMLスキーマについては、「日本銀行金融ネットワークシステムにおけるコンピュータ接続等の対象電文の追加および変更について」等^{（注）}において提供しています。

（注）2018年3月29日および同年10月30日に日本銀行HP「業務上の事務連絡」に掲載しています（<http://www5.boj.or.jp/bojnet/message/kaihatsu.htm>）。

（２）ファイル確認試験（対象：ULDL機能）

日銀ネット端末を用いて、自行（庫・社）システムで作成したアップロードファイル内の検証データが正しく作成されていることを、試験参加先自身で確認します（この確認を「ファイル確認試験」といいます。）。

ファイル確認試験の実施要領は次のとおりです。

① 試験日

- ・ 2019年6月3日（月）以降に実施可能です。ULDL機能を利用して試験に参加する場合は、オンライン接続試験の実施日までの適宜のタイミングで実施してください。
- ・ 試験時間帯に制約はありませんが、本番業務で使用している端末装置を利用する場合は、本番業務に影響を与えないよう、本番業務が終了した後で試験を実施してください。
- ・ 日本銀行への試験開始連絡は不要です。

② 試験環境

(a) 使用するショートカットアイコン

ファイル確認試験では「メインセンタ」接続用のショートカットアイコン



(青色のアイコン) を使用してください。

(b) 使用する端末認証装置および権限者カード

ファイル確認試験では、「本番用端末認証装置」および「本番用権限者カード」を使用してください。

③ 試験手順

- ・ 実施手順は「日本銀行金融ネットワークシステムファイルアップロード・ダウンロード機能説明書」の「参考 ファイルアップロード・ダウンロード機能を利用する際の事前確認について I. 4 ファイル確認試験の試験手順」のとおりです。
- ・ なお、操作手順⑤「確認対象区分」は、「適用予定分」を選択してください。

④ 試験結果報告

- ・ ファイル確認試験の結果について、日本銀行にご報告いただく必要はありません。

8. 参加希望調査票による回答内容の最終確認および試験当日の連絡先

- 試験参加先は、参加希望調査票による回答内容に異動がないことを必ずご確認ください。参加希望調査票による回答内容に変更がある場合は、参加希望調査票を修正した上で、2019年5月10日（金）までに、日本銀行に電子メールにてお送りください（宛先は10.と同じです。）。同日以降に、参加希望調査票の回答内容を変更することはできません。

—— 参加希望調査票による回答内容を修正する際は、変更箇所を明示してください。

- 試験参加先は、「オンライン接続試験（2019年6、7月開催分）当日の連絡先」（別紙2）に必要な事項を記入のうえ、2019年5月31日（金）までに、必ず日本銀行に電子メールにてお送りください（宛先は10.と同じです。）。

—— それ以降に変更が発生した場合も、必ず日本銀行に電子メールにてお知らせください（宛先は10.と同じです。）。

9. 試験当日の終了連絡および実施結果報告書提出のお願い

- 試験参加先は、各回の試験において、自行（庫・社）の試験がすべて終了した段階で、日本銀行にお電話にて、「試験が終了した」旨をご連絡ください（連絡先は10.と同じです。）。

- 試験参加先は、各回の試験を実施した日の翌営業日の17時までに、「オンライン接続試験（2019年6、7月開催分）の実施結果報告書」（別紙3）に必要な事項を記入のうえ、日本銀行に電子メールにて送付してください（提出先は10.と同じです。）。

10. 照会先

- オンライン接続試験全般について、ご不明な点やご質問等ありましたら、下記の照会先にご連絡ください。

なお、試験当日の連絡先も同じです。

日本銀行 システム情報局 業務システム開発課 日銀ネットグループ	TEL : 042-351-1207	電子メール : post.issd161@boj.or.jp
--	-----------------------	-----------------------------------

以 上